



平成 29 年 6 月 30 日(金)
練馬区立開進第四小学校
校長 佐々木 秀之

開四小だより

7月号

ラベンダー咲く季節に想う

副校長 桐敷 芳子

早いものでもう7月。水泳指導もはじまり、プールサイドからは子供たちの歓声が聞こえてきます。桜咲く4月の始業式・入学式をスタートに、保護者・地域の皆様には、学校の教育活動にご尽力いただき、大変感謝申し上げます。

*

春から夏にかけてラベンダーの開花の時期です。薄紫の花色とともにすがすがしい香りで、昔から多くの人々を魅了してきました。ハーブの女王ともいわれるこの植物、香りには鎮静効果があるとして、アロマテラピーにも活用されています。そんなラベンダーの花を見ると思い出すことがあります。

これまでいくつかの学校に勤務しましたが、中には、様々な課題があり、指導に苦慮したこともありました。授業が落ち着かず、教員同士互いに助け合って指導にあたっていました。どうすればもっとよくなるか、夜遅くまで悩みを相談し合うことも珍しくありませんでした。

ある日の朝、「庭のラベンダーをもってきたのよ」と、Y先生が言いました。手には、いかにも今引き抜きましたと言わんばかりのラベンダーが握られています。中には、根っこのついたものも混ざっています。「教室にぶらさげたらいいにおいがして、少しはみんな、気持ちが落ち着くんじゃないかしら」「ラベンダーには、気分を鎮め、ストレスを和らげる効果があるらしい。子供たちもそうだけど、先生たちが穏やかに授業を進められれば、それはとてもいいことだ」。私たちは皆で笑って、ラベンダーを分け合い、教室の入り口にぶら下げたのでした。

さて、その効果があったのかどうか。Y先生の学級の子供たちは、そのあと、いくつかの出来事や行事を乗り越えながら、立派に卒業していきました。根っこのついたラベンダーを家に持って帰り、自宅の庭に植えた子供もいたと聞きました。

*

困難なことがあっても、仲間と力を合わせて取り組めば勇気がわいてくること、自分なりのアイデアを生かしてメッセージを伝えること、そして、メッセージを受け取る感性を育て、自分で行動を起こすことができるようにすること。ラベンダーの花を見ると、Y先生の笑顔と一っしょに、その頃のことを今でも懐かしく、鮮明に思い出すのです。